

一人一人が輝いた 秋季大運動会！

10月7日（日）に秋季大運動会を実施しました。

全校児童が赤組・青組の2色に分かれ、「108人の絆で輝く笑顔をつくらまそう」の児童会スローガンを掲げ、最後まで力いっぱい頑張りました。

低学年は団体演技「Let's ダンス1・2・3！」で、曲に合わせてリズムよく踊り、みんなで心を合わせて踊る楽しさを味わいました。高学年は団体演技「YELL～絆2018～」で、見ている人に勇気と元気を与えたいという気持ちを持って、今までの練習の成果を出し切りました。

最初に、エール交換を行いました。
お互いの健闘を祈って、相手チームに声援を送りました。



また、舞鶴支援学校6年の櫻井優羽さんが、徒競走で一緒に走ったり、全校リレーのバトンを第1走者に渡したり、福井小の子どもたちと一緒に頑張りました。



両チーム共に、団長を中心に一致団結して頑張れた気持ちの良い運動会でした。この運動会で付けた力をより充実した学校生活につなげていきます。

当日は、多くのご来賓、保護者、地域の皆様にお越しいただき、子どもたちに温かい声援を送っていただきました。また、福井文化協会、青井校区振興会、PTA役員の皆様には、当日朝の準備・運営・後片付け等、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

ウズベキスタン給食

10月16日（火）に、ウズベキスタンの伝統料理をいただきました。

ウズベキスタンでは「日本人のようになりなさい」という言葉が語り継がれているそうです。それは、第二次世界大戦中に、現地に收容されていた日本人が、過酷な状況にありながらも現地の人たちのために「ナヴォイ劇場」を建設し、その建物は大地震でも壊れなかったそうです。現地の人々が日本人の勤勉さに感謝され、今でも両国の交流が続いています。

そんな両国の友好について学習した後、遠く離れたウズベキスタンを思いながら給食をいただきました。



6年生ふるさと学習



舞鶴市では、育てたい子ども像を「ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子ども」としています。

その取組の一環として、10月23日（火）、6年生が吉原小学校と一緒に「ふるさと学習」に出かけ、ジャパンマリンユナイテッド・舞鶴引揚記念館・赤れんが博物館の3か所を見学しました。

舞鶴の人は自分たちの生活もままならないのに、遠いシベリアの地から引き揚げてきた人たちにお茶を出したり、お花を生けたりして温かく迎えたそうです。シベリアでの過酷な生活状況を目の当たりにし、戦争の恐ろしさを改めて実感しました。

舞鶴の造船の歴史や技術に触れたり、赤レンガの町といわれる所以について学んだり、ふるさと舞鶴について学習を深めました。

生け花クラブ～ハロウィーン～



地域の鈴木智美様に毎月生け花を
教えていただいています。

スポーツクラブ ～ゲートボール～

10月22日(月)に地域の近藤様をはじめゲートボール協会の方にお世話になり、4・5・6年生のスポーツクラブの児童がゲートボールに親しみました。なかなかゲートに入らなかったり、一発でゴールの棒に当たったりと、一喜一憂しながら、大盛り上がりでした。



城北中学校区小中一貫教育の取組を紹介します！



1・2年生 ルンビニ保育園との交流

6年生「部活動体験」in 城北中学校

10月13日(土)、10月20日(土)の2日間、城北中学校「部活動体験」があり、希望する部で体験をしました。

少し緊張しながらも、半年後には共に学習する友達や先輩と一緒に活動する中で、中学校生活への夢と希望を持つことができました。



10月25日(木)舞鶴公園にて秋見つけをしました。グループで自己紹介をした後、ドングリや落ち葉を拾いました。2年生が始めの会などの司会をして、お兄さんお姉さんとしてしっかりと進めることができました。11月にも、見つけた秋のもので一緒に学習します。

～振り返りより～

ほいく園の友だちが、すいかもようのどんぐりをひろってめずらしくてびっくりしました。葉っぱの形が手の形でした。ほいく園の友だちがまいごにならないように気をつけました。11月のフェスティバルが楽しみです。



児童会本部・委員会 前期から後期へ

前期本部役員から

会長 谷口慶太郎 副会長 高橋 美空
議長 岩根 海翔 書記 嵯峨根 結葉

後期本部役員へ

会長 河牧 愛 副会長 吉岡 大翔
議長 池田 徹平 書記 竹内 咲実



10月19日(金)に、後期本部役員選挙がありました。どの立候補者も「伝統を受け継ぎながらも、さらに良い福井小にしたい」という思いを懸命に述べました。それを受けて、全校児童が心を合わせて、よりよい学校を創っていきます。

5・6年自転車安全教室<路上>



普段の生活や中学校に進学してからの通学を安全にという目的で路上での「自転車安全教室」を10月25日(木)に行いました。標識を見て、交差点で止まったり、自転車を降りて横断歩道を渡ったり、1つしかない命を守るために大切なことを学びました。当日は、舞鶴警察署、民生児童委員、防犯推進委員、登下校ボランティア、子育て支援協議会等多くの皆さんにご指導いただきました。

平成 30 年度全国学力・学習状況調査の結果について

舞鶴市立福井小学校

平成 30 年 4 月、全国の小学 6 年と中学 3 年を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。国語、算数・数学、理科の学力調査とともに、学習習慣・生活習慣についての調査を行いました。結果から学力分析・誤答分析を行い、児童の学力や意識等、全体と個別の実態の把握に努めるとともに、今後の指導資料として授業改善や個に応じた指導など児童一人一人の学力向上に向けた取組に活用・反映させています。また、これまで同様、6 年のみならず学校全体の指導課題として、授業、家庭学習、生活習慣の改善・充実に活用していきます。

学力状況調査（国語・算数・理科）（A問題…知識に関する問題、B問題…活用に関する問題）

国語、算数、理科ともに成果も見られましたが、付けきれていない力、今後付けていかなければならない力も明らかになりました。正答率が高かった問題と低かった問題は、以下の通りです。

	成果が見られた問題	課題が見られた問題
国語科	<ul style="list-style-type: none">・他の文章を引用した作文・文章の最初に書いた理由・漢字の読み書き	<ul style="list-style-type: none">・慣用句の意味と使い方・文章の書き方の工夫・物語を書くときの構成の工夫
算数科	<ul style="list-style-type: none">・分配法則を用いた式・混み具合の式の意味・角の大きさ	<ul style="list-style-type: none">・円と円周・1あたり量といくつ分・表の規則性
理科	<ul style="list-style-type: none">・モーターの回転と回路・食塩水と蒸発後の考察・上流の天気と川の水量	<ul style="list-style-type: none">・人体の仕組み・ものがとけた時の全体の量と重さ・流れる水の働き

授業においては、めあての提示、めあてを達成するための学習活動、めあての達成度と定着を確かめる振り返りを位置づけた指導を徹底します。また、計算練習や漢字の書き取り、言葉のきまりなど、引き続き基礎的・基本的な学習を積み重ねることはもちろんですが、日記・作文・意見文・感想文・授業の振り返りなど書くことを重視し、書く力を付ける学習を推進します。たくさんの方の文章やグラフ・図などから必要な情報を選択し読み取る学習や、読書の習慣化を図ることにより、読解力の向上にも努めます。これらの取組を通して、課題に粘り強く向かい、最後までやり切る力も付けていきます。

学習習慣の定着に向けては、「城北中学校区 家庭学習の手引き」の活用、「家庭学習パワーアップキャンペーン」の取組の徹底を図り、保護者の皆さんと連携して時間、内容を重視した家庭学習の充実に努めていきます。

学習状況調査（家庭生活や学習に関する質問紙による調査）

「将来の夢や目標を持っていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問では、全国と比べ高い割合で当てはまると答えており、将来を展望する力が育っています。一方、「学校のきまりを守っていますか」「朝食を毎日食べていますか」といった学力を支える基礎となる力については、全国・府の平均と比べ低い割合となっています。

学力の充実・向上には、学校での学習活動に加えて、家庭での会話や生活習慣づくり、地域での活動等、多様な関わり・体験が必要です。これからも保護者、地域の皆さんと協力・協働して子どもたち一人一人の良さを認め、励ますことにより、主体性を持ち、自信を持って夢や目標を語り行動する福井っ子を育てていきたいと思っております。